

政策評価調書 目標年度(27年度)実績

政策名	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進	政策コード	Ⅲ-4	関係部局名	土木建築部、企画振興部
-----	-----------------------	-------	-----	-------	-------------

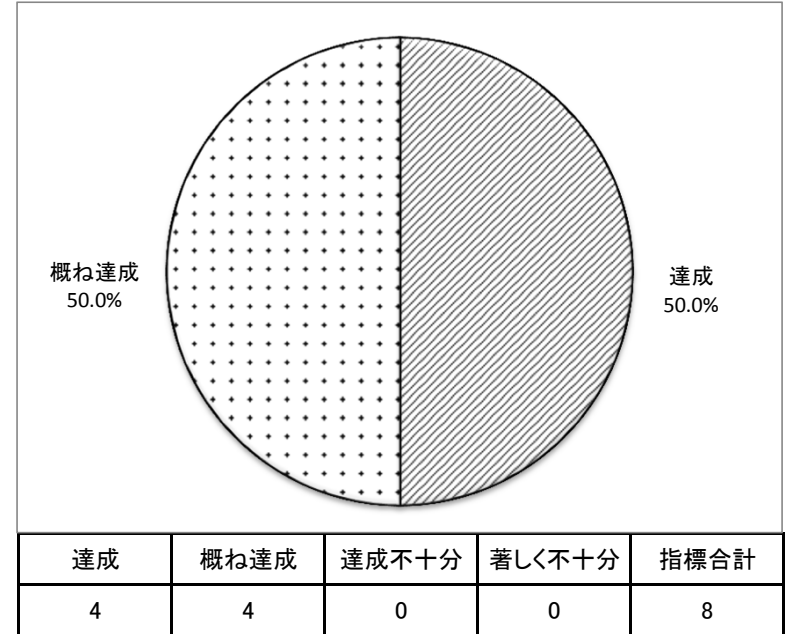
【Ⅰ. 政策の概要】

産業競争力の基盤となり災害時の緊急輸送路ともなる東九州自動車道をはじめとする広域交通網の整備促進や、地域の生活を支える道づくりの推進、地域公共交通の維持・充実などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名		指標評価	総合評価
1	広域交通網の整備推進	達成	A
2	地域生活交通システムの形成	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策の達成状況と評価】

「広域交通網の整備推進」では、東九州自動車道の県内全線開通をはじめ、中九州横断道路や中津日田道路など高規格道路の開通により広域交通網の整備が進むとともに、大分空港を発着する国内線の機材の大型化や国際線のLCCの新規就航などにより交通ネットワークの充実が図られ、関係目標指標は総じて高い達成度を残すことができた。

また、「地域生活交通システムの形成」では、これまでに市町村相互や合併新市中心と旧町村中心部を結ぶ道路整備の推進、大分駅付近連続立体交差事業の完成により踏切遮断による渋滞の解消、日常生活に欠かせない広域的・幹線的な民間路線バスや市町村が運行するコミュニティバス等に対する運行経費の助成などにより、地域交通対策の推進が図られ、関係目標指標は総じて高い達成度を残すことができた。

政策全体の評価としては、重点目標である「東九州自動車道(北九州～大分～宮崎間)の平成26年度全線開通」は、用地取得に時間を要し建設が遅延した椎田南～豊前間(H28.4.24開通)を除き開通し、目標を達成することができた。

今後は、東九州自動車道の4車線化などの広域交通ネットワークの充実に加え、フェリーターミナルや港湾の機能強化、九州の東の玄関口として人や物の流れの拠点化を推進するとともに、東九州新幹線の整備計画路線格上げの取組を強化するなど、地方創生を支える基盤整備を進める。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—